

大学の学費

東工大の授業料の値上げが報道されました。授業料は文科省が示す標準額を参考に
して大学が決めますが、現在は殆どの大学は標準額となっています。

今後各大学がどのようになるかわかりませんが、現時点での大学の学費の目安をベネ
ッセマナビジョンの資料からご覧下さい。

《入学初年度納付金の目安》

区分	授業料	入学料	施設設備費	合計
国立大※1	535,800	282,000	※4	817,800
公立大※2	537,809	393,426	※4	931,235
私立大文系※3	746,123	242,579	158,118	1,146,819
私立大理系※3	1,048,763	262,436	190,034	1,501,233
私立大医歯系※3	2,737,037	1,038,128	831,722	4,606,887

《在学中にかかる授業料・施設設備費の目安》

区分	授業料	施設設備	年間合計	合計 (入学料含)
国立大※1	535,800	※4	535,800 ※5	2,425,200
公立大※2	537,809	※4	537,809 ※5	2,544,662
私立大文系※3	746,123	158,118	904,241 ※5	3,859,543
私立大理系※3	1,048,763	190,034	1,238,797 ※5	5,217,624
私立大医歯系※	2,737,037	831,722	3,568,759 ※6	22,450,684

※1 文科省による標準額。

※2 平成28年度の平均額。

※3 平成26年度の平均額(屋間部)。

※4 施設費、実習費、諸会費が徴収される場合がある。

※5 4年間として4倍しているが、大学・学部によってまた年度別に上がる場合も。

※6 6年間での単純計算。

○ 公立大学については、地域内と地域外では授業料に差異があるのが普通です。

◆上記金額のめやすは大学納入の学費のみです。

自宅からの通学生は別として、地方から都市部の大学に進学した場合は
毎月、下宿費(寮費)・生活費・交通費・通信費等が必要になります。

それに休暇等で帰省の旅費も別に考慮すべきです。

◆試算

南九州から関東・関西の大学生への仕送りは10~15万だそうです。

仮に13万平均として単純に上記学費と合わせると下表のようになります。

区分	授業料+施設設備費×4 (6)	月13万×4(6)	納付金+経費合
国立大	535,800×4 = 2,143,200	6,240,000	8,665,200
公立大	537,809×4 = 2,151,236	6,240,000	8,784,662
私立大文系	904,241×4 = 3,616,964	6,240,000	10,099,543
私立大理系	1,236,797×4 = 4,947,188	6,240,000	11,187,188
私立大医歯系	3,568,759×6 = 21,412,554	9,360,000	31,710,684

入学時の入学金は含まれています。